

一生自分の歯で食べられる社会を目指して・・・



お口の健康ネットワーク 会報

Oral Health Network Newsletter No.25. 2015. 7. 10



いよいよスタートです！つまようじ法認定医療機関

つの歯科医院 院長
津野 敬一郎

1. 前途多難な船出

2008年遡ること7年前から、理事会に於いてつまようじ法に関する何某かの認定を行おうという動きが始まりました。

認定制度導入の理由は、「一生自分の歯で食べられる社会の実現に向けて、つまようじ法の技術と理論の普及、および医院の情報交換」ということです。

当時、私は認定委員ではなく別の委員会に所属していました。

口臭関連の役職をしている関係で、東北を始め全国津々浦々の先生方と接することが多く、予防に関しての問題点やつまようじ法に関する多くの希望を耳にしました。

個人ではなく医療機関を認定する制度を考えるに至った主な問題点は、

- ① 離島や過疎地域では歯科衛生士が不足、というか存在していない。都市部以外での地域的问题が悩みの種。よって院長がつまようじ法を行っているケースがある。
- ② 通院していた患者さんが転勤するときに、HP一覽で紹介しても、実際はつまようじ法を行っていないところがある。また、やっけても満足のいく内容ではなかった。
- ③ 認定歯科衛生士制度だけを始めても、退職すれば技術継承が難しい。

これらの課題を網羅しなくてはならない。そのためには医療機関を認定するしかない。

ただ2009年の9月の理事会では、つまようじ法の中心となる歯科衛生士につまようじ法を伝達し、認定歯科衛生士制度を先にスタートさせることで一件落着。やや不満。

この頃から、認定に関して厳しく且つ画期的な意見(周囲からすれば浮いていたに違いない!)を出していたので、

必然的に私が認定委員になりました。

そこから新たに長〜い、規約作り・渡邊理事長との戦いがスタートしたのです。

2. 紆余屈折が続く

渡邊理事長は、大学教授・名誉教授を歴任されている通り、慎重で且つ理の敵わないことには梃子でも動かない強固な意志を持っておられます。

当初は認定医療機関ということに積極的には賛同はしてくれず、途中「では、認定でなく公認という名称を使ってはどうですか？」と妥協案も出しました。

願きはするがOKは出さない。10・11・12・13年、案を作るたびに蹴られ、なんと第13案まで長い戦いが続き、最後の方は「理事会には出ても、飲み会には出んばい！懇親はせんけんね！」と四国・高知のいごっさうの血が流れ、長崎の炭鉱で育った私は敵意むき出しでした。

14年9月の大阪での総会前に、理事長から唐突に「試験するよ」とメールが来ましたが、その内容はとてつもなく難しい。しかも一方的な通告。「なしかい!!!」

問題は英語で記載。学会ではなくNPOの認定にこまめで必要なのか？疑問に思った。

「こりゃ避けておつても決着は着かん。いっちょ乗り込んじやろう！本音でぶつかるばい！」と考えて、周囲も驚く久々の懇親会出席。

結構みんな気にして、最初は渡邊理事長から遠い席に座らされました。

途中で意を決し、熱燗片手に理事長の横に座り込み、コップ酒で討論開始。

胸を割って話し、最後は記念撮影までし、理事長の男気をようやく理解しました。

ネクタイ締めて理事会に座ってしか話せないことは沢山ありますが、本音の部分の引き出しは別なものです。理

理事長への誤解を反省して、前向きに検討することを決めました。

3. ようやく船出

本格スタートするにも自分は委員長ではなく、単なる委員でした。

慕っている 2 人森田先生・磯崎先生から実質に嵌められ、小畑副理事長が自分は保険関係があるからと引導を渡され、宗形先生からは手伝いますという形式だけの援助を貰ったうえで、理事長から「んなら、津野先生が委員長で」と言われたので、経緯上「やるしかないばい」と決心。今度は私の男気を！旭先生と楠本先生がそのサポート役をしてくれます。

理事会では試験をする意味やその方法を打ち合わせ、決定し一致団結の再スタートです。

しかし、前向きな会議から数日も経過していない中で、理事長から厳しい言葉で規約改正を命じられるが、こんなことはメールや電話では進まないと思いつち、自腹を切つて新幹線に乗り込み、カリカリしながら岡山に向かいました。「これ以上は引っ張れんばい！」

やはり会話が一番です。ここで大筋合意に至りましたので、後は文語にするだけです。

夜は黒瀬先生から慰労いただきました。本当に皆さんに迷惑をかけ、その中で甘えている自分は何なんだろうか？とほんの少・・・しだけ自責し酔っぱらって帰路へ。

1 5 年 4 月の理事会は土曜夕方に行い、日曜早朝は理事だけのつまようじ法実習、その後に試験問題の説明と研修会という日程に変える提案をし、それを承諾いただき実行。

ところがこの研修（正式には教育講演と名付けている）は“目から鱗”です。

欠席した理事は勿体ない、と思えるくらいの素晴らしい内容でした。

これが基本、これを知らずして何がつまようじ法か！と思います。

皆さん、9 月の福岡で第 1 回の教育講演があります。認定医療機関に申請する、しないに関わらず、受講することで明日からの診療姿勢は変わります。是非参加ください。

4. 簡単に説明します

認定医療機関制度はこのような経緯で発足に至りました。ようやく心地よい疲れです。

福岡開催を聞いて初めて参加してみよう、教育講演を聞いて申請する気になった、でも現時点では申請条件はクリ

ア出来ない。そんな方も多いでしょう。

正しい知識・技術を持って、前向きに考えておられる方のために、緩和方法があります。

- ① 今から初めてつまようじ法をスタートする方
 会員歴 5 年・・・今日入会で 5 年経てば条件クリア
 3 年以内に訪問実習受講・・・今日から 3 年以内に受講すれば条件クリア
 5 年以内に本会主催セミナー受講・・・今日から 5 年以内に受講すれば条件クリア
- ② 近年やっているが条件は満たしていない方
 これも上記と同じです。
- ③ 管理者は夫・親や自分が婿養子の場合
 奥さんや娘さんが予防をされて、夫や父母が一般診療のケースはあると思います。
 推薦理事に相談いただき確認できたら、管理者でなくても問題はありませぬ。
 但し、分院長で管理者でないものや代診は申請不可です。

5. 最後に

記念すべき認定医療機関制度スタートの第 1 回研修会を福岡で開催でき感無量です。

地元でアドバイス・ご尽力いただいた、河合 悟先生に厚く感謝申し上げます。

参加の皆さんにも不手際があるかもしれないですが、ご容赦くださいますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

国内外でご活躍されている渡邊理事長に、分不相応で相対したこと、今考えたら恐ろしくも思います。でも何かは残った気がします。ありがとうございました。

これからもまだまだ、必要とされている限りは、筋が通るまで「戦いますよ～～！」。

さあ、張り切っていきましょう！

Let 's Begin つまようじ法！

津野 敬一郎

NPO 法人 お口の健康ネットワーク 理事・認定委員長
 日本口臭学会 理事・認定委員・試験委員
 九州ラグビー協会 前中学レフリース委員長

No.21

診療室訪問

医療法人ハート 樋口矯正歯科クリニック



所在地:福岡市中央区天神 1 丁目
 チェア: 5 台
 スタッフ: Dr 2 名
 DH 7 名(うち 1 名受付担当)
 診療時間: 9:30~19:30
 休診日: 毎週月・木曜、第 4・5 日曜
 外来患者数: 1 日約 30~35 名

一生自分の歯で食べるための 矯正治療を

福岡市天神にある樋口矯正歯科クリニックは、1970 年に西日本で初めて矯正歯科専門として開院したクリニックです。今回は 2 代目院長の河合悟先生にお話を伺いました。

矯正歯科とつまようじ法

—— 認定歯科衛生士を 5 名取得されています。

一般の矯正歯科のイメージは子供や中高生だと思いますが、当院のボリュームゾーンの患者さんは、20 代後半から 30 代の女性で、40 代や 50 代もたくさんいらっしゃいます。最高齢では 70 歳の方も。やはり時代は変わってきています。そうすると当然歯周病が心配です。私は歯磨きと咬合で歯周病は大丈夫という考えですが、矯正をするにしても、補綴やインプラントをするにしても、ブラッシングはとても大事ですよ。その時にどこを一番磨かないといけないかっていうと、歯間乳頭の部分ですから、それができる唯一無二の方法がつまようじ法だと思います。去年と今年新卒で 1 名ずつ採用しましたが、それ以外の歯科衛生士はお口の健康ネットワークの認定を取らせていただきました。

当院では矯正治療で通院される場合、月に一度、装置なりワイヤーを全て外して、まずは自分でブラッシングしてもらい、その後チェック、歯科衛生士による清掃を行い、装置を調節するという流れになります。その際にブラッシングは必須です

し、矯正治療が終わってメンテナンスで来られる場合にも、つまようじ法は必要です。



歯科衛生士は全て新卒採用

—— これまで全て新卒採用なのですか？

その通りです。中には新卒で入ってキャリア 20 年以上の人もあります。その理由は、新卒以外の人だと、私のうるさい教育に耐えられないと思うからです(笑)。矯正歯科専門の歯科衛生士になるには、トレーニングが大変です。まあこれぐらいでいい、というのはありません。歯科衛生士も治療の主体となりますから、担当歯科衛生士制にしていますし、当院は受付も歯科衛生士で、しかもベテラン歯科衛生士が担当しています。電話がかかってきたときなどに適切に対応するには、治療の内容を把握していないと無理ですから。そして、歯科衛生士が成長することによって、医療レベルも上がっていきますから、ずっと勤め続けてもらうことが大切なのです。

といっても全ての患者さんは必ず僕が診ています。個人の歯科医院に来られる患者さんは、そ



の歯科医師に診てもらうために来院されるわけですから、僕が診て、きちんと把握していないと意味がないですよ。

訪問診療部をスタート

——矯正専門で訪問歯科とは珍しいですね。

昔当院に勤務していた歯科衛生士から相談を持ちかけられて始めることになったのですが、私は矯正歯科専門ですから、最初は断るつもりでした。ただ、色々考えているうちに私にもできる訪問歯科診療があるのではないかと思うようになりました。当院の理念は、「誰もが一生自分の歯で食べ、本当に健康で長寿を全うできる社会の実現に矯正歯科治療を通じて貢献していくこと」です。不運にも自立が困難になってしまった方々の口腔衛生や口腔機能向上のお手伝いをするのもその目的は同じです。幸いにもその歯科衛生士と以前一緒に訪問診療をしていた経験豊富な歯科医師を紹介され、それならということで訪問診療部をスタートすることになりました。

コンセプトは、最低限の治療。医療は最低限が一番いいですから。そこそこ噛めて、ちゃんと食べられて、義歯だったら話しやすいとか、あとは機能訓練することが大切だということを啓蒙してもらっています。3人でこじんまりとやっ

ますが、ここからは福岡市内全域行けるんですよ。

機能美を追求した矯正歯科を

——矯正治療は歯並びをきれいにするというイメージで捉えられがちだと思います。

歯並びは「きれい」にはなりません。きれいというのは主観で、基準がないからです。医療は、異常なところを正常にすることで、矯正歯科でも正常な咬み合わせというゴールが決まっています。異常なものを普通の状態に戻すことが目的です。

8020 達成者の歯並びの調査が複数発表されていますが、多くの方は正常咬合です。このことはあまり一般の人に伝わっていないと思います。一生自分の歯で食べるために矯正治療が必要なのです。トータル医療費は矯正治療したほうが下がるはずですが、残念ながら矯正治療は自費で、見かけを美しくする事と思われがちです。私はきちんと咬める、機能美を追求した矯正治療をこれからも続けていきたいと思っています。



▲河合先生とスタッフの皆さん

河合 悟 (かわい さとる)

- 1983年 福岡歯科大学卒業
- 1989年 福岡歯科大学歯科矯正学講座助手
- 1995年 樋口矯正歯科クリニック 副院長
- 2001年 樋口矯正歯科クリニック 院長
- 2004年 医療法人ハート設立 理事長就任

●今後の行事日程

H27年 月 日	内容	開催地	講師等	時間 (予定)
9/5 (土)	第 14 回理事会	福岡	—	17:00~19:00
9/6 (日)	認定歯科医療機関教育講演 「歯周治療における宿主強化療法とつまようじ法」		渡邊 達夫	9:30~11:30
	第 7 回通常総会		—	11:40~12:30
	お口の健康ネットワーク講演会 「口腔常在微生物叢の功罪~つまようじ法と口腔常在微生物」		鶴見大学歯学部口腔微生物学講座 教授 前田 伸子 先生	13:30~15:30
10/18 (日)	予防歯科臨床セミナー 2 回コース (1 回目)	東京	黒瀬 真由美 小畑 文也	10:00~16:00
11/15 (日)	予防歯科臨床セミナー 2 回コース (2 回目)		山本 龍生	10:00~16:00

●認定医療機関教育講演について

先日ご案内いたしました認定医療機関教育講演について、現在多数参加申込をいただいております。お口の健康ネットワークのセミナーもあまり行っていない福岡での開催となりますので、歯科衛生士の方でも参加しやすいように受講料の設定を追加いたしました。午後の講演会と合わせて、受講をご検討いただければ幸いです。ご不明な点等は事務局までお問い合わせください。

●9/6(日) 9:30~11:30 認定医療機関教育講演受講料

区分		料金	備考
歯科医師	受講料	5,000 円	
	認定試験受験料	15,000 円	
歯科衛生士	受講料	2,000 円	※新設

●9/6(日) 13:30~15:30 お口の健康ネットワーク講演会受講料

お口の健康ネットワーク会員	1,000 円
非会員	2,000 円

(編集後記)

現在発売中の女性向け雑誌「婦人画報」(ハースト婦人画報社) 8月号に「つまようじ法」が紹介されました。会員の皆様での実践はもちろんですが、いろいろなメディアでつまようじ法が紹介されることも、普及のためには大切だと思っています。「歯周病予防の磨き方と言えばつまようじ法!」と多くの人に認知してもらえようになりたいですね。

(事務局/草野栄路)

お口の健康ネットワーク会報 No. 25

2015年7月10日発行

発行：特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク

〒700-0953 岡山市南区西市 541-1

TEL. 086-244-4692 FAX. 086-244-1351

<http://www.oral-health-network.jp>

会員専用サイト：<http://www.ohn-member.com>

E-mail: info@oral-health-network.jp